

市政に対する

一般質問

一般質問は5月31日・6月1日の2日間にわたって行われ、8人の議員が市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をただし、各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。
内容は、一般質問時点のものです。

国民文化祭に向け 専従組織を設けるべき

会派 政和会
高橋 和 子議員



質問 「文化の国体」国民文化祭が平成26年秋田県で開催される。本市の文化を国内外に発信する絶好のチャンスである。専従組織を早期に設けて積極的に取り組むべきである。独自事業の一つに「食の文化」を取り入れて、「食の文化」を取り入れて、伝統的な食文化など掘り起こし、発信するべきである。また、友好都市とも連携し取り組むべきである。

答弁 国民文化祭で民俗芸能、芸術文化、文化遺産などを紹介し、文化祭を観光の目玉とし、地域の活性化を目指す。一体で推進するため国文祭事務局をできるだけ早い機会に設置する。本市の水や米、酒などの伝統的な食文化も独自事業として実施を検討する。友好都市や大学などとも連携し世界に向け情報発信する。

質問 ラジオ難聴地域があり停電時に情報が伝わらない。命にかかわる場合がある。関係機関と協議調査をし、解消に向けて積極的に取り組むべきである。個人対応でなく市として取り組むべきである。
答弁 相談窓口の情報提供や、聞き取りにくい場合の具体的な対応などを広報で周知する。



毎年開催している全国ごてんまりコンクール

質問 伝統工芸品本荘ごてんまりの後継者育成の製作教室期間が短い。長期にすべきである。全国コンクールを「カダレ」で開催するべきである。
答弁 年2回各3日間の日程で製作教室を開催しているが、今後月1回ずつ開催していく。全国コンクールの「カダレ」開催を調整中である。

フッ素洗口について

会派 フォーラム輝
今野 英 元議員



質問 フッ素は殺鼠剤、殺虫剤、シロアリ、ゴキブリ駆除剤として使われるもので、このような薬剤を虫歯予防として使うべきでない。安全性、毒性、副作用が出た時の責任は誰がとるのか。
答弁 フッ素洗口は虫歯予防に高い予防率を示している。体内への過剰摂取により中毒を起こすとされているが、国のガイドライン、県のマニュアルに沿って適正に実施するので安全性に問題はない。

質問 フッ素の希釈調剤は誰が、どこで行うのか。国のガイドラインでは無資格者の劇薬フッ素の希釈調剤をさけるため、「歯科医師、薬剤師が処方調剤、計量を行い」としている。
答弁 公開はしているが、ただ従来、この時期にこういったことをやります、といった事については、不十分だったと思われるので、今後配慮しながら周知していきたいと思っている。

ているが県のマニュアルは対応が異なっている。市の対応はどちらに従うのか。
答弁 フッ素の希釈調剤は昭和60年の政府答弁書で薬事法などに抵触しないという政府見解があり、県のマニュアルにおいても歯科医師の指示書に従うことで希釈する行為は認められている。

質問 昭和59年以降、無資格者の希釈調剤に批判があり国のガイドラインが作られた経緯がある。27年前の政府答弁は時代に合っていない。国のガイドラインのもとに実施すべきではないのか。
答弁 国のガイドラインはあくまで薬剤の管理に対する注意点であり、国のガイドラインと県のマニュアルに基づいて実施することに何ら問題はない。



電子部品産業の事業再構築による地元中小企業への影響について

会派 フォーラム輝
今野 晃 治議員



質問 「由利地域の経済雇用情勢に関する連絡会議」で共有されている情報の生産拠点再編による地元中小企業・事業所への影響の規模について。
答弁 地域の電子・機械部品製造業「202事業所」への今後の売上や雇用についての調査を行った。売上については「変わらない」が約半数の「102の事業所」。「減少する」は「44」。「増加する」は「3」である。雇用については「変わらない」が「133の事業所」。「減少する」は「12」。「増加する」は「5」である。その他の事業所では、今後の影響の度合いを測りかねている状況と思われる。

質問 「連絡会議」が把握している離職者規模の予測は。
答弁 離職者数の見込みについて協力会社の「1社」では6月末で「160人余り」が離職する。更に9月まで段階的に、相当数の離職者が発生すると予測されるが正確な数値は提供されていない。

質問 離職者への生活支援・再就職支援策について。
答弁 県は緊急雇用創出基金事業のうち、由利地域に特別枠を設け、「30事業」、新規雇用数「100名程度」の雇用創出事業を予定している。本市では、中途採用助成事業を新たに立ち上げ、早期再雇用支援のため補正予算を計上した。金融機関では、離職による「ローン」の返済計画の見直しに柔軟に対応する。今後とも行政・関係機関では、情報を共有しながら連携して支援策に取り組む。

市民に開かれた教育委員会の在り方について

会派 民主党
作佐部 直議員



質問 教育委員会の会議を、市民に公開する自治体の数は、今後も増え続けていくものと思われる。
答弁 本市の教育委員会は、市民の傍聴の受け入れに向けて、どんな方法を講じているのか。
答弁 月1回の定例会及び臨時会とも、人事案件やプライバシーに関わるものなど一部の案件を除いて、傍聴人規則を定めて公開を原則としている。

質問 会議の開催をどのように市民に周知しているのか、いつ、どこで開催されるのかを、どうやって市民が知ることができるのか。

永年勤続表彰

本市議会から
2人が表彰

第88回全国市議会議長会定期総会が5月23日、東京都で開催され、永年にわたり市政の発展に尽力された議員の表彰が行われました。

本市からは次の方々
表彰されています。
(敬称略)

在職15年以上
村上 亨
在職10年以上
佐々木 隆一



左から村上議員、佐々木議員



「本荘公園」整備 に予算対応

会派 創風
大関 嘉一 議員



質問 「本荘公園」の整備、「芋川桜堤」の将来と整備方針は。

答弁 「本荘公園」は早急に予算対応も含め、環境整備をする。

「芋川桜堤」は間違いなく将来、国内でも有数の「桜の名所」になると考えており、「日本一の桜堤」を目指し、積極的に取り組む。



草刈など整備される本荘公園

由利橋・本荘公園・カダレについて

会派 市民クラブ
堀 友子 議員



質問 新由利橋架替事業の進捗状況、完成時期、名称は。

答弁 由利橋の架替事業は、平成18年度に着手し、現在上部工事を施工中である。橋梁全体延長の約半分の架設が完成しており、供用開始は平成25年1月末の予定である。

名称は「由利橋」で80年が経過し、愛着を持つ市民が多いことから、完成後も引き続き「由利橋」とする。市民はもちろん観光客にも親しんでいただける愛称を公募の上決定し、新たな観光資源として、積極的に活用していく。

質問 本荘公園は市民の憩いの場として四季を通じて愛されているが、良く整備された

質問 到来する高齢化社会への対応は。

答弁 本市の高齢化率は、平成30年には34・5%に達し、集落環境や景観への影響にも危機感を抱いている。意欲の高い高齢者の雇用、就業を円滑に誘導する仕組みが必要と考える。

質問 保育児童・入園児童の把握は。余裕のある定員で子育てを支援すべき。

答弁 国の基準に基づき、次年度の園児数を想定している。希望する保育所に片寄りが生じ、入所に困難な場合があるが、窓口でできる限りご希望に添えるよう対応したい。

質問 学校給食センター化についての認識、食物アレルギーをもつ児童生徒の現状と学校の対応は。

答弁 大量購入による地産物の使用、安全・安心な給食の提供などが期待される。小中学校とも1%の児童、生徒が食物アレルギーをもつことから、対応した食事の提供はより一層工夫する。

場所と放置されたまま荒れ放題の場所との差があまりにも大きい。特に「三ヶ月堀」は草が一面に生え茂り、名前が泣いている。早急に整備するべきではないか。

答弁 平成27年度以降の県の国道側の整備方針が決定次第本荘公園西側の整備に着手する。それまでは三ヶ月堀のみならず公園全体の環境美化を補正予算に計上し、積極的に進めていく。

質問 カダレのセンタープラザは小さな子供を自由に遊ばせるスペースと理解しているが、遊具や絵本なども設置して、楽しい広場にすべきではないか。

答弁 センタープラザは授乳室、こどもトイレを整備し、「こどものえき」として県から認定を受け看板を設置している。幼児向け遊具は、他の託児コーナーを参考にしながら整備していく。



こどものえきの認定看板

通学路の安全点検 について

会派 市民ネット
湊 貴信 議員



質問 通学路の安全点検の実施状況と対策について伺う。

答弁 本市ではいち早く小中学校長に注意と指導を行った。今後も安全指導を徹底するとともに道路標識や表示、歩道の除草など、スクールゾーンの整備に努める。

質問 岩城・松ヶ崎統合小学校の通学路の安全点検のためスクールバスの運行計画を早期に示してほしい。どのように進めるのか伺う。

答弁 7月中旬に統合小学校開校準備委員会を設置し、その中に専門部会を設けて運行計画策定などの事業に取り組む。

孤立死・孤独死を 防ぐ手だてを

会派 日本共産党
佐々木 隆一 議員



質問 北海道や埼玉などで近隣の人たちにも気付かれないうちに自宅で亡くなり長期間たつて発見される人が全国的に続発している。食事もとれず衰弱死する悲劇もあり「貧困死」といつてもいい。

死後4日以上経過して発見された高齢者は年間1万5千人、1日平均約40人の人が誰にも見取られることもなく亡くなっている。「貧困死」はいつどこで起こっても不思議ではない。

答弁 市の民生委員が日常的に見回り、訪問を行っており各自治会には災害時要援護者

質問 今取り組んでいる観光振興策と今後の計画について伺う。

答弁 専門技術を持たなくともトレッキングを楽しめる桑ノ木台湿原に無料シャトルバスを運行する。韓国・台湾へのトップセールスも成果が出ている。不足している積極的な売り込みやおもてなしの心など官民挙げて取り組んでいく。

質問 緊急時の情報伝達にメール配信も取り入れるべきでは。

答弁 「消防・防災メール」を秋頃の運用に向け作業を進めている。

質問 カダレの利用料金は納付書により金融機関で納付してもらおうではなく、その場で窓口で支払えるようにすべきではないか。

答弁 全てを現金納付化するのは困難であるが、7月1日をめどに現金納付もできるような対応する。

事業の一環として要援護者情報を提供し地域ネットワークの形成に役立てており、今後も迅速に通報できるような体制の整備を図っていく。

質問 虫歯予防のためのフッ素洗口は有効な方法として評価されている一方、人体への影響について懸念や疑問視する説など賛否両論があり集団フッ素洗口をやる場合はより慎重に行っていくべきと思うが。

答弁 集団フッ素洗口事業の拡大にあたっては意向調査を行い、実施する学校や保護者に実施方法の安全を含めた事前説明を十分に行った上で実施しており、今後も同様の手順を踏んで拡大していくのでご理解をいただきたい。



議会の動き

- 4月
- 4日* 議会編集特別委員会
 - 9日* 会派代表者会議
 - 13日* 産業経済常任委員会 協議会
 - 16日* 議会編集特別委員会
 - 19日* 長崎県大村市議会行政視察
 - 19日* 20日* 東北市議会議長 会理事會・定期総会 (山形市)
 - 24日* 議会運営委員会
 - 26日* 市議会臨時会 * 会派代表者会議
- 5月
- 8日* 潟上市議会行政視察
 - 9日* 川口市議会行政視察
 - 14日~15日* 岩手県野田村災害廃棄物等状況現地調査
 - 15日* 議会編集特別委員会 行政視察(湯沢市)
 - 16日* 兵庫県豊岡市議会行政視察

- 6月
- 1日* 市議会定例会本会議 (一般質問)
 - 4日~5日・11日* 各常任委員会
 - 13日* 議会運営委員会 * 市議会定例会本会議 (閉会)
 - 21日* 議会改革委員会行政視察(山形県酒田市)
 - 26日* 各期成同盟会等総会並びに合同整備促進大会
 - 27日* 議会編集特別委員会
 - 28日* 国道107号整備促進期成同盟会通常総会 * 秋田県国道108号鳥海ライン整備促進期成同盟会通常総会
 - 18日* 議会運営委員会
 - 23日* 全国市議会議長会定期総会(東京都)
 - 28日* 市議会定例会本会議 (開会)
 - 31日* 市議会定例会本会議 (一般質問)

常任委員会報告(Q&A)

上程（議事日程に組み入れ、議題として審議の対象とすること）された議案は各常任委員会および特別委員会に付託されます。各委員会では、議案および報告事項について慎重に審議されています。

～ 議案審査の流れ～



建設常任委員会

Q、住宅リフォーム資金助成事業の執行状況について伺う。
A、5月31日現在で316件の交付が決定している。また予算額1億2千万円に対し、補助金交付決定額は2647万7千円で、1件当たりの平均額は8万3788円となっている。工事額の合計（事業効果）は4億9052万3814円で、一定の事業効果はあるものと受け止めている。
また、316件のうち4月3～4日の暴風被害によるリフォーム件数は105件で、

工事額1億1447万9693円、補助金交付額は837万8千円となっている。
Q、「市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」の制定について伺う。
A、「大門・本町通り」の整備にあわせて沿道の商店街の景観形成を一体的に進めて、市街地再生を図るとともに、周辺における落ち着いた住宅地の保全を図ることを目標に制定する。

Q、由利橋架替事業上部工事申請費契約で1億4969万2200円増の23億4164万7000円の変更契約になった理由について伺う。
A、車道・歩道の防護柵、侵入防止柵、歩道の高欄、照明灯、車道・歩道の舗装工事について、分離発注する予定であったが、具体的な工程協議を重ねたところ、河川占用期限内に工事が完了出来ない事が予想されたため、一括発注することとした。なお、上部工設置工事の継続費の予算に



今後整備が予定されている大門・本町通り

産業経済常任委員会

Q、「鳥海山の恵（めぐみ）」ふるさと雇用創造大作戦の概要について伺う。
A、地域による自主性・創意工夫ある地域の雇用創造にかかる取り組みを支援するもので、国から交付される事業費は平成24～26年度の3カ年で約2億円、県内での事業採択は、本市と横手市である。
なお、事業主体は、由利本荘市雇用創造協議会（市及び地域の経済団体で構成される団体）となる。

Q、この事業の実施のため、雇用される人員は何名か。
A、事業推進員として7月から3名を雇用し、事業主や求職者を対象に各種セミナーを開催するなど、新たな雇用を生み出す仕事に従事してもらう。
Q、セミナー開催に当たって市民への周知の方法は。
A、ホームページの活用やハローワーク本荘など関係機関と連携を図り、あらゆる方法で市民への周知に努める。

Q、雇用創出実践メニューで、由利高原鉄道や本荘ハムフライの事業など、既存事業に対する支援は可能か。
A、地域活性化セミナーなどで活用できるか検討する。
Q、グランドオープンした桑ノ木台湿原の入り込み状況と今後について伺う。
A、オープン以降のシャトルバスの利用者は1週間で1日平均62人である。
ツアー予約状況は7月まででツアー本数で42本、最大客



グランドオープンで賑わう桑ノ木台湿原

数およそ1400人である。

教育民生常任委員会

Q、国民健康保険税条例の一部改正については、実質値下げとなるが、ここに至った経過と、将来の見通しについて伺う。
A、国保税の税率は、その年の医療費の動向などの財政事情と、被保険者の所得などを考慮し、医療分・後期高齢者支援金分・介護納付金分と分けて、税率を設定するのが基本である。
過去3年連続黒字であることや、財政調整基金・繰越金に余裕が出た事、現状の税率は

Q、国民文化祭への取り組みについての考えを伺う。
A、それぞれの地域に根差した理由でも高い方である事などの理由から税率を引き下げるものである。
また、後期高齢者支援金分・介護納付金分は個々に見ると赤字幅が大きいので、その是正も図るものである。
来年度以降も医療費の動向などに加え、その年の基金残高・繰越金を考慮した上で税率変更となっていく。

Q、不適切な事務処理などが後を絶たないが、教育委員会における職員の定員管理は適正な状態か。
A、市職員全体の定数削減策の中で正職員は減ってきており、人員不足が生じた場合には、臨時職員などの採用で対応している。
Q、不適切な事務処理などが後を絶たないが、教育委員会における職員の定員管理は適正な状態か。
A、市職員全体の定数削減策の中で正職員は減ってきており、人員不足が生じた場合には、臨時職員などの採用で対応している。



集落に伝わる蛇縄行事

総務常任委員会

Q、太陽光発電施設設置箇所として、東由利総合支所、西目総合支所を選定した理由は。
A、他の総合支所の年間の電気料金が300万～400万円なのに対して、西目総合支所が約600万円、東由利総合支所が約900万円かかっている。太陽光発電を導入することにより、少しでも料金の負担軽減を図りたいというのが一番の理由である。
Q、（仮）国療跡地土地利用検討委員会の委員の選考方法は。

利用計画は市が示した素案について検討するのか。市民へのアンケートなどの実施は。
A、委員については、各地域石脇財産区、スポーツ推進委員会、県総合防災課、社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、市男女共同参画推進協議会、本荘由利PTA連合会、（社）由利本荘青年会議所、県立大学などからの推薦、そして公募による委員と合わせて20～25名ほどを予定している。
国立病院機構から買い取り

した際に示した民間福祉、スポーツ、防災の各ゾーンからなる計画を基本として委員に説明した上で討議に入りたい。
おおむねの計画（案）がまとまった段階で市民に周知するための何らかの方法を考えたい。



2箇所の施設に設置される太陽光発電施設

一般会計補正予算など35件を可決・同意

一般会計補正予算 20億8678万3千円 を増額

《条例関係》 税条例の一部改正 国民健康保険税条例の一部改正など

平成24年6月定例会は5月28日から6月13日までの日程で開催されました。今定例会への提出議案は、人事案件1件、条例関係12件、契約関係8件、補正予算13件、その他1件の計35件が上程され、審議の結果、原案どおり可決・同意しました。また、継続審査中の陳情2件を不採択とし4件を引き続き継続審査としました。

補正予算の主なもの

一般会計

一般会計の歳入歳出それぞれ20億8678万3千円を増額し、総額を479億2634万円とするものです。

- 総務費
 - 秋田県再生可能エネルギー等導入臨時対策基金事業 5743万9千円
 - 移動通信用鉄塔施設整備事業 1362万6千円
 - 記者会見用バックパネル購入費 12万7千円
 - 支障木撤去委託料 27万2千円
- 民生費
 - 新児童手当システム改修事業 325万5千円

- 障がい者自立支援事業 1185万円
- 大内学童保育施設運営費 193万2千円
- 衛生費
 - がん検診推進事業費補助金 超過交付分返還金 109万円
 - 災害廃棄物現地確認費用 6万8千円
 - 災害廃棄物試験焼却費用 65万3千円
 - 西目最終処分場モニタリング調査費 183万3千円
 - 労働費
 - 職業訓練センター空調設備改修工事費 4126万5千円
 - 雇用支援対策助成金 1000万円
 - 地域雇用創造協議会補助金 20万円

- 地域雇用創造協議会貸付金 5352万3千円
- 農林水産業費
 - 畜産施設等修繕費 685万円
 - 林業災害復旧事業単独補助金 70万円
- 商工費
 - 産学共同研究開発助成事業補助金 245万7千円
 - 鳥海荘自動給水装置修繕費 450万円
 - 「鳥海山文化de元気実行委員会」貸付金 1115万8千円
 - 桑ノ木台湿原管理費 212万6千円



桑ノ木台湿原シャトルバス

- 土木費
 - 県単局所がけ崩れ対策事業 1100万1千円
 - 停車場栄町線「大門・本町通り」まちづくり支援事業 54万円
 - 本荘公園整備費 1300万円
- 消防費
 - 非常備消防施設等維持事業費 368万8千円
 - 教育費
 - 平成26年度国民文化祭事業費 105万9千円
 - 日本荘体育館解体事業 6348万9千円
 - 第83回都市対抗野球大会出場補助金 100万円
 - 災害復旧費
 - 市道伏見線災害復旧事業 1165万円
 - 林道災害復旧単独事業費 1440万円
 - 凍上災 6億2682万5千円

公債費

長期債償還元金 7億8951万6千円

諸支出金 1億6421万2千円
市土地開発公社償還金

緊急雇用創出臨時対策基金事業（全体） 5785万4千円

特別会計

介護サービス事業特別会計 1001万7千円
人件費の増額

集落排水事業特別会計 1507万5千円
人件費の減額と維持適性化診断業務の増額

スキー場運営特別会計 2940万円
圧雪車購入費用の増額

松ヶ崎財産区特別会計 10万円
自主防災関係補助金に充当する一般会計繰出金の増額

人事案件

教育委員会委員の任命 桑山明久氏（岩城二古）

契約関係

由利橋架替事業上部工工事請負変更契約の締結
高欄設置工、防風板設置工及び橋面工などの工事について、現在の上部工工事請負業者である（株）IHIインフラシステム東北営業所に追加発注するため1億4969万2200円を増額し、23億4164万7000円で変更契約。

物品購入契約の締結
本荘地域に配備する除雪グレーダ1台を契約額2079万円でキャタピラー（東北株）本荘営業所と契約。

矢島地域に配備するロータリ除雪車1台を2268万円で打川自動車（株）と契約。

矢島及び岩城地域に配備する小型ロータリ除雪車2台を3675万円（株）KCMJ

秋田営業所と契約

・大内、東由利、西目、鳥海地域に配備する除雪ドーザー4台を5402万2500円でコマツ秋田（株）由利支店と契約。

・矢島消防署に配備する災害対応特殊水槽付ポンプ自動車5241万6千円で猿田興業（株）と契約。

水林球場グラウンド整備工事請負契約の締結
人工芝敷設工を主とするグラウンド整備事業を2億2207万5千円で日本フィールド・村岡・長田特定建設工事共同企業体 代表者 日本フィールドシステム（株）（東北支店）秋田営業所と契約。



全面人工芝で整備される水林球場

規約関係

本荘文化会館等解体工事請負変更契約の締結
ポイラー関連設備等にアスベストが含まれていることが判明したことにより、除去作業のため628万2150円を増額し1億6682万7150円で伊藤工業（株）（岩城支店）と変更契約。

後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
住民基本台帳法等の改正に伴うもの。

条例関係

市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定

建築基準法に基づき地区計画区域内における建築物に関する制限を定めるもの。
税条例の一部改正
地方税法の改正に伴い一部改正するもの。

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税率の改定に伴い一部改正するもの。

印鑑条例の一部改正
住民基本台帳法等の改正等に伴い、記録される外国人住民に関する規定を整備するため一部改正するもの。

手数料条例の一部改正
秋田県からの事務の権限移譲及び住民基本台帳法等の改正等に伴い一部改正するもの。
長寿祝金条例の一部改正
住民基本台帳法等の改正等に伴い一部改正するもの。
浄化槽施設条例の一部改正
浄化槽施設廃止に伴い一部改正するもの。

医師確保奨学資金貸付条例の一部改正
住民基本台帳法等の改正等に伴い一部改正するもの。

乳幼児健康支援一時預かり事業の実施に関する条例の一部改正
住民基本台帳法等の改正等に伴い一部改正するもの。

議長公務・交際費 報告 (平成24年4月～6月分)

公務報告

月	日	行 事
4	1	(株)ばいんすば新山オープン記念セレモニー
4	2	議会事務局辞令交付式
4	4	市商工会新入社員合同歓迎会
4	5	秋田県立大学入学式(秋田市)
4	6	鶴舞小学校入学式 本荘南中学校入学式
4	9	岩谷小学校入学式 会派代表者会議
4	10	市民児童委員協議会総会 (株)ばいんすば新山オープン記念祝賀会
4	11	秋田県市議会議長会会計監査
4	13	本荘さくらまつり山開き・懇親会
4	17	秋田由利牛振興協議会総会
4	19	東北市議会議長会理事会・定期総会(山形市)
4	22	芋川を楽しむ会設立10周年記念式典・祝賀会
4	23	市老人クラブ連合会総会 地域農業再生協議会総会
4	24	議会運営委員会
4	25	にかほ市議会新副議長来庁
4	26	市議会臨時会 会派代表者会議
4	27	鳥海山矢島口山開き 本荘由利総合技能センター創立50周年並びに職業訓練協会創立45周年記念式典・祝賀会
4	29	由利招魂社大祭

月	日	行 事
5	3	丸亀お城まつり(～4日) (香川県)
5	8	潟上市議会行政視察
5	11	市芸術文化協会連合会表彰式・祝賀会
5	15	市老人クラブ連合会本荘地区総会 市観光協会通常総会
5	16	財団法人本荘由利産業科学技術振興財団評議員会
5	18	兵庫県豊岡市行政視察 議会運営委員会
5	20	市管工事協同組合通常総会懇親会 子吉川ガニまつり
5	23	(株)秋田石材創業40周年記念感謝パーティー(秋田市)
5	24	全国市議会議長会定期総会(東京都)
5	25	市建設業協会通常総会懇親会 (社)市シルバー人材センター通常総会
5	26	「あつまれ!げんキッズ」
5	28	市議会定例会本会議(閉会)
5	30	本荘由利森林組合通常総代会 市議会定例会本会議(一般質問)
5	31	(～6月1日)
6	2	全国「みどりの愛護」のつどい(秋田市)
6	3	小友地区敬老会
6	4	北内越地区敬老会 市議会定例会常任委員会(5日、11日)

月	日	行 事
6	9	高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会・由利本荘地区予選開会式 本荘矢島会通常総会
6	13	議会運営委員会 市議会定例会本会議(閉会)
6	14	芋川河川改修早期促進協議会
6	15	内越保育園竣工式並びに祝賀会
6	16	秋田県日韓善協会定時総会(秋田市)
6	21	議会改革委員会行政視察(酒田市)・議会改革委員会
6	22	鈴木貞一氏(旭日双光章)・須藤紘之氏(瑞宝単光章)の受章を祝う会
6	23	本荘地区保育園こどもフェスティバル
6	24	由利本荘ふるさと会連合会の集い(東京都)
6	25	国会議員へ要望活動(地方議会議員年金について)(東京都)
6	26	各期成同盟会等総会・合同整備促進大会
6	28	国道107号整備促進期成同盟会通常総会
6	29	秋田県国道108号鳥海ライン整備促進期成同盟会通常総会
6	30	西目高等学校同窓会総会 羽越線沿線駅開業90周年記念イベント

交際費報告 (円)

月	日	支 出 内 容	支出額
4	10	(株)ばいんすば新山オープン記念祝賀会会費	3,000
4	12	東北日本海沿岸市町村議会協議会事務引継お土産代	2,555
4	13	本荘さくらまつり山開き懇親会会費	2,000
4	22	芋川を楽しむ会設立10周年記念祝賀会会費	3,000
4	27	本荘由利総合技能センター創立50周年並びに職業訓練協会創立45周年記念祝賀会会費	6,000
5	2	市商工会通常総代会へ寸志(土田副議長代理出席)	3,386
5	3	香川県高松市・丸亀市訪問お土産代	8,805
5	4	長野県佐久市訪問お土産代	4,969
5	4	長野県佐久市訪問歓迎夕食会会費(土田副議長代理出席)	5,000
5	8	潟上市議会行政視察茶菓子代	2,940
5	8	市芸術文化協会表彰式祝賀会へ御祝い	3,386
5	8	議長名刺印刷代	3,500
5	15	市観光協会通常総会へ寸志	3,400
5	15	本荘由利電気工事協同組合通常総会へ寸志(土田副議長代理出席)	3,400
5	16	議会報編集特別委員会行政視察お土産代(湯沢市)	2,520
5	16	兵庫県豊岡市議会行政視察茶菓子代	1,480
5	16	兵庫県豊岡市議会行政視察へ寸志	5,145
5	18	市管工事協同組合通常総会へ寸志	3,386
5	20	(株)秋田石材創業40周年記念感謝パーティーへ御祝い	10,000
5	20	ふるさと岩城会総会へ寸志(湊貴信議員代理出席)	10,000
5	22	市体育協会総会懇親会へ寸志(鈴木和夫議員代理出席)	3,400
5	22	本荘地域町内会長協議会総会懇親会会費(土田副議長代理出席)	3,000
5	24	市建設業協会通常総会へ寸志	3,386
5	25	(社)市シルバー人材センター総会懇親会会費	3,500
5	27	子吉地区敬老会へ御祝い(佐藤賢一議員代理出席)	3,340
5	27	東京東由利会総会へ寸志(長沼久利議員代理出席)	10,000
5	30	本荘由利森林組合総代会懇親会へ寸志	3,400

交際費報告 (円)

月	日	支 出 内 容	支出額
6	2	矢島地域敬老会へ御祝い(土田副議長代理出席)	3,380
6	3	小友地区敬老会へ御祝い	2,516
6	3	北内越地区敬老会へ御祝い	3,380
6	6	議長名刺印刷代	7,000
6	9	本荘矢島会通常総会へ寸志	3,386
6	11	日本母親大会・秋田県母親大会へ協力金	10,000
6	13	原水爆禁止国民平和実行協議会	10,000
6	14	芋川河川改修早期促進協議会情報交換会会費	1,500
6	15	内越保育園竣工祝賀会会費	5,000
6	16	秋田県日韓善協会総会懇親会会費(秋田市)	6,000
6	19	由利地域敬老会へ御祝い(村上亨議員代理出席)	3,360
6	21	議会改革委員会行政視察お土産代(酒田市)	2,360
6	22	鈴木貞一氏(旭日双光章)・須藤紘之氏(瑞宝単光章)の受章を祝う会会費	6,000
6	24	由利本荘ふるさと会連合会の集いへ寸志(東京都)	20,000
6	29	西目高等学校同窓会総会祝賀会へ寸志	3,386

甲 事 (円)	
件 数	2件
支出額	20,000

各月の交際費合計(甲事除く) (円)			
	4 月	5 月	6 月
件 数	5件	22件	15件
集計額	16,555	101,343	87,268

子育て支援金条例の一部改正
正
住民基本台帳法等の改正等
に伴い一部改正するもの。

火災予防条例の一部改正
総務省令の一部改正に伴い
一部改正するもの。

さけ・ます増殖施設条例を
廃止する条例
さけ・ます増殖施設の利用
廃止に伴い廃止するもの。

陳 情

継続審査中の6件が審査さ
れうち2件が不採択とされま
した。

不採択

- 消費税によらない最低保障
年金制度の創設を求める意
見書提出についての陳情
- (全日本年金者組合秋田県
本部本荘由利支部 執行
委員長 菊地徳右衛門)
- 無年金・低年金者への基礎
年金国庫負担分3万3千円
の支給を求める意見書提出
についての陳情
- (全日本年金者組合秋田県
本部本荘由利支部 執行
委員長 菊地徳右衛門)

関係私企業の請負契約などの状況報告

議会議員政治倫理条例に関わる関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から5月28日付で報告がありましたので公表します。

関係する議員	高橋和子			
請負人の氏名	秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 畠山勝一			
事業名	内 容	金 額	契約年月日 または支払年月日	契約期間 または物品納入期日
物品などの購入	消耗品など物品の購入(1月分)	145,692円	平成24年1月30日	平成24年1月4日～30日
	消耗品など物品の購入(3月分)	762,693円	平成24年3月31日	平成24年3月1日～31日
食の自立支援事業業務委託契約(単価契約)	在宅の一人暮らし高齢者などに対し、配食弁当を調理し、安否確認をしながら配布する	10,170,000円		
生きがい活動支援通所事業業務委託契約(単価契約)	閉じこもりがちな高齢者に対し、通所により日常動作訓練や趣味活動に関するサービス提供	2,462,000円		
生活管理指導員派遣事業業務委託契約(単価契約)	社会適応が困難な高齢者に対し、ホームヘルパーを派遣し、家事援助などを行う	127,270円		
要介護・要支援認定調査業務委託契約(単価契約)	介護保険法に基づく調査対象者に対し、要介護等認定調査を実施する	648,900円	平成23年4月1日	平成23年4月1日～平成24年3月31日
介護予防支援業務委託契約(単価契約)	介護保険法に基づく要支援1・2の対象者に対し、介護予防サービス計画の作成などを行う	2,243,200円		
ゆり高原ふれあい農場の資材などの単価契約	ゆり高原ふれあい農場の飼料、肥料、薬剤などの単価契約	1,888,120円		
大内畜産センター草地用肥料単価契約	大内畜産センター草地用肥料購入の単価契約	1,004,850円		

第1回市議会臨時会(4月26日)

補正予算の主なもの

一般会計

農林水産業費
農業施設等廃プラスチック
適正処理支援事業
100万円

農業生産施設等暴風災害
復旧支援事業
1億6900万2千円

暴風被害復旧支援資金利子
補助補助金 85万3千円
(H25年以降分は債務負担行為あり)



ふれあい農場堆肥舎暴風被害

漁業生産施設等暴風災害復旧支援事業 800万円

道川漁港管理費 50万円

土木費
住宅リフォーム補助金 2000万円

市道取付計画測量設計事業(前杉バイパス) 57万8千円